

# 2025年度 年次報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

**特定非営利活動法人 ヤマックル・アグロフォレストリー**

**里山アップサイクルで、中山間地に経済循環を**

本報告書は、
・任意団体としての活動期間（2025年4月1日～2025年12月16日）
・NPO法人としての活動期間（2025年12月17日～2026年3月31日）
の両方を対象としています。

# 代表理事挨拶

## 里山アップサイクル*による中山間地の経済循環を目指して

＊里山アップサイクルとは、使われなくなった森の資源を商品に変え、
地域の中に経済を生み出す取り組みです



みなさま、こんにちは。NPO法人ヤマックル・アグロフォレストリーの活動をご支援いただきましてありがとうございます。

ヤマックルは、里山・森林の自然資源（木質バイオマス資源）の持続的利活用を通して中山間地の経済循環を図ることを目的に、2024年4月に任意団体として活動を開始しました。

その後、複数の助成金・交付金の採択を受けることができ、2025年12月には和歌山県よりNPO法人としての認証を受け、法人登記が完了しました。

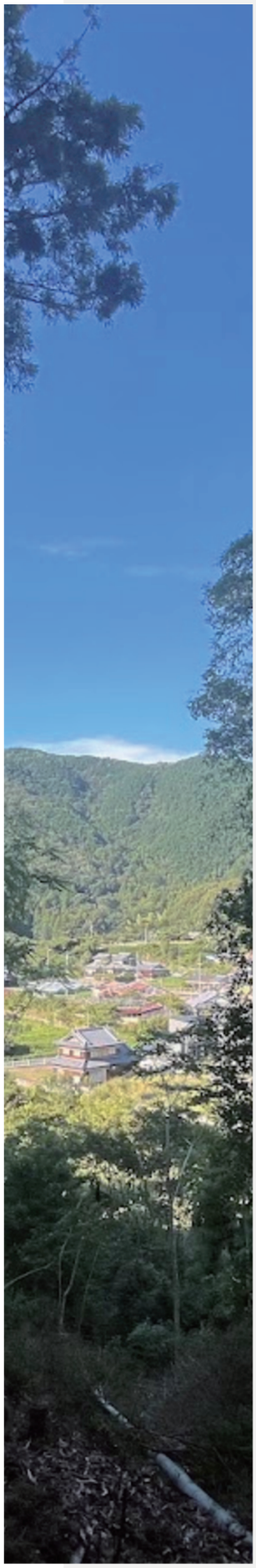
私たちの活動する和歌山県紀美野町は、森林面積が1万ha程度ある緑豊かな中山間地ですが、その森林資源は十分に利用されていません。森林を適正に管理するには、森林資源の持続的利活用が必要です。そのためには、森林を整備する人材（木こり）の育成に留まらず、1950年代まで薪炭や肥料などとして利用されていた樹木や草木を商品化した経済活動、すなわち「里山アップサイクル」が重要になると私たちは考えます。

2026年度の事業計画では、設立から日の浅い当団体の基盤強化に引き続き力を入れつつ、森林・里山の手入れ、人材育成、森の資源を利用した商品開発（森の小商い）を実施する予定です。

会員、ボランティア、支援者のみなさまとともに、森林整備、そして森林から生まれる林産物・商品の開発・販売をしていきたいと思います。ぜひご一緒に！

2026年7月
特定非営利活動法人ヤマックル・アグロフォレストリー
代表理事 白井 宏明

# 団体概要



## 設立年月日・組織

任意団体としての設立：2024年4月1日
NPO法人としての認証：2025年12月17日（和歌山県）
正会員：個人14名、法人1団体
職員：非常勤4名
ボランティア参加者（里山整備）：約50名

## 役員

代表理事　白井宏明（紀美野町自伐型林業推進協議会副会長）
理事　　奥田郁子（木工和み庵 和）
理事　　奥田和重（木工和み庵 和）
理事　　尾原由佳（フリーランス）
理事　　宮下和佳（NPO法人ムラのミライ専務理事）
監事　　山下千朝（Amrita株式会社代表取締役）

## 私たちがめざすこと

　和歌山県紀美野町を中心に、木質バイオマスをはじめとする自然資源を持続的に活用し、山林所有者、地域住民、林業従事者の生計向上に貢献します。

　また、こうした活動を通じて森林を整備し、針葉樹と広葉樹が混じり合う森林づくりなど、生物多様性の向上を図ります。**自然環境を守りながら、地域の経済につなげる「経済と環境の両立」**を目指します。

　さらに、活動に関する情報を発信するとともに、同様の取り組みを行う他地域の団体・個人と連携。自然資源を持続的に活用するモデルをつくり、全国、そして海外へ広げていきます。



# 活動報告と計画

## 1. 里山を整える

## 2025年度の活動実績

### 地域、面積の広がり

林野庁「里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金」を活用し、紀美野町内3か所（福井、蓑垣内、西野）の山林計2.6haの整備を継続的に実施しました。
2024年度は、福井の山林2.2ha（通称：ヤマックル山）だけで施業していましたが、25年度には他2か所が加わり、面積が0.4ha広がりました。




### 多様な担い手

里山整備には、有償ボランティア25名と役員4名が参加しました。小学生から60代まで、和歌山県内のみならず京都府・大阪府からも、のべ123名が里山整備に参加しました。複数回参加した方も多く、幅広い世代が共に活動しました。

## 2026年度の計画

### 地域、面積の広がり

引き続き紀美野町内で施業地を拡大し、整備活動を継続します。具体的には、福井、蓑垣内、西野の3箇所に加えて三尾川、田の2か所でも里山整備に取り組む予定です。

### 山林集約化

ヤマックル山に隣接する山林所有者との交渉を進めることで、まとまった面積を確保して作業道をつけられるよう準備します。



COLUMN

## 山林集約化と作業道づくりは何のため？

　自伐型林業のような小規模林業では、山主や山守りが同じ山に長く関わり続け、間伐を繰り返しながら森を育てる森林経営が基本です。まとまった面積の山林を確保することで、作業効率も上がり、一定の収入を確保することができます。そのため、山林の集約化が必要だと私たちは考えます。

　しかし、日本の山林の多くは所有者ごとに細かく分かれており、相続手続きがされていない山林も少なくありません。ヤマックルは、山林所有者お一人お一人とご相談しながら集約化に取り組み、継続的に山を守り育てられる施業モデルを紀美野町でつくっていくことを目指しています。

　山が確保できたら、次に必要なのが、間伐した木材を搬出するための森林作業道です。高性能な林業機械に頼らず、小さな建設機械（ユンボやショベルカーと呼ばれる機械）を利用して森林作業道を作設します。これが、自分たちの手で低コストに山を管理していく基盤となります。丈夫で壊れにくい作業道をていねいに作設することは、木材の搬出コストを下げるだけでなく、豪雨時の土砂災害を防ぐ役割も果たします。



# 活動報告と計画

## 2. 里山の恵みを使う

## 2025年度の活動実績

### 里山の資源へのニーズ調査

「里山木工クラフト相談会」を開催しました（2025年9月21日 来場者49名）。紀美野町内で活動する木工・竹細工作家4名の作品紹介やワークショップを行うとともに、来場者からのDIYやクラフト制作・森林資源の活用にまつわる相談に対応しました。「親から引き継いだ山を何か活用できないか」といった相談も複数件寄せられ、持ち山の活用に悩む方々のニーズを知る機会にもなりました。この相談会の様子や代表理事・白井のインタビューが、2025年10月21日にNHK和歌山「ギュギュっと和歌山」で放送されました。

### 森林空間の活用

ヤマックル山で、写真撮影を学ぶワークショップ「里山写真撮影会」を開催しました（2025年12月13日 参加者10名）。この会をきっかけに、その後も活動に参加する方が現れました。

### 林産物の加工と販売

2024年度から始めた竹チップづくりに加え、2025年度は竹炭づくりを開始しました。作った竹チップ・竹炭は、地元JAの直売所（JAとれたて広場）やフリマアプリでの販売を開始しました。

# 2026年度の計画



## 林産物を活用して経済価値を生む仲間づくり

連続講座「森の小商い講座」を実施します。
9月から全9回開催し、森で採取できる素材を使った商品の開発・販売を手がける人材を育成すると共に、自団体での商品開発にも取り組みます。講座開催期間中、月に数回、シェア工房を試験的にオープンします。

## 木材・林産物の集積所（木の駅）づくり

シェア工房、原木や薪の集積・販売場所、簡易製材など必要な機能と優先順位を整理したうえで、資金と用地の確保に取り組みます。

## 林産物の加工と販売

竹炭・竹チップに加えて、薪の製造・販売も始めます。

## 森林空間の活用

子ども向けの読み聞かせイベントや森ヨガなど、整備した森林での体験プログラムを企画し、パイロット実施をします。





# 活動報告と計画

## 3. 里山の担い手を育てる



## 2025年度の活動実績

### 自伐型林業者の支援

ボランティアと取り交わす覚書や、山林整備作業の準備から精算までの手順をまとめたマニュアルを作成し、里山の整備や自伐型林業に取り組む他団体に共有する準備をしました。

### 安心・安全な活動環境づくり

竹炭づくりを始める前に、「木の国協議会」主催の無煙炭化器講習をヤマックル山で実施し、注意点を学びました。竹炭づくりを実施する日は前もって消防署に届出をし、消防署員の方が見回りに来てくださっています。



# 2026年度の計画

## 自伐型林業者の支援・自伐型林業の普及

2022年度から毎年開催されている紀美野町自伐型林業体験研修の修了者へのヒアリングと、紀北の自治体の情報収集を進め、支援策を取りまとめます。

## 安心・安全な活動環境づくり

子どものセーフガーディング※研修の開催とガイドラインの作成に取り組みます。

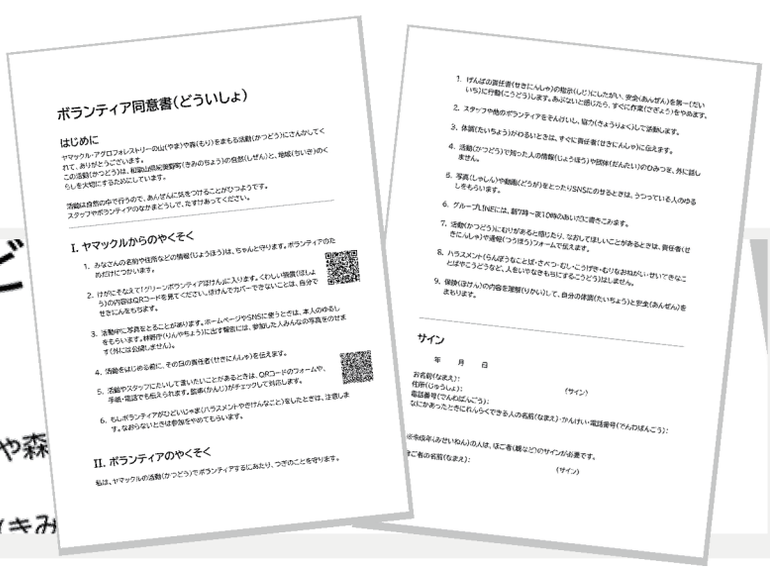
※子どものセーフガーディングとは＝関係者による虐待や不適切行為など、子どもの権利に反する行為を防止し、安心・安全な活動と運営を目指す取り組みです。



COLUMN

## 身体も心も安心・安全に<br>〜ボランティア覚書

より安全・安心な活動の場とするため、活動前にボランティアとヤマックルとが取り交わす覚書を作成しました。日本語が母語でない方やお子さん、文書を読むのが得意でない方にも伝わるよう「やさしいにほんご」版も作成しています。また、第三者への通報窓口として、監事だけが見ることのできる苦情・相談受付用のオンラインフォームも設置しました。


ボランティア同意書(どういしょ)

はじめに

ヤマックル・アグロフォレストリーの山(やま)や森(もり)をまもる活動(かつどう)にさんかしてくれて、ありがとうございます。
この活動(かつどう)は、紀美野町自然実習農場(きみのちょう)の自然(しぜん)と、地域(ちいき)のくらしを大切にするためにおこないます。

活動は自然の中で行うので、あんぜんに気をつけることがひつようです。
スタッフやボランティアのなかまどうしで、なぜ声をかけあってください。

I. ヤマックルからのやくそく

1. あなたの名前や住所などの情報(じょうほう)は、ちゃんとまもります。ボランティアのためだけにつかいます。
2. けがにそなえて「グリーンボランティア保険(ほけん)」に入ります。くわしい補償(ほしょう)の内容はQRコードを見てください。ほけんでカバーできないことは、自分でせきにんをもちます。
3. 活動中に写真などをとることがあります。ホームページやSNSに使うときは、本人のゆるしをもらいます。特別作業(とくべつさぎょう)やちょうに出す報告には、参加した人みんなの写真をのせます(外には出しません)。
4. 活動をはじめる前に、その日の責任者(せきにんしゃ)を伝えます。
5. 活動やスタッフについて言いたいことがあるときは、QRコードのフォーム、手紙・電話でも伝えられます。記者(きしゃ)がチェックして対応します。
6. もしボランティアがけがをしたり、ハラスメントやセクハラなどをしたときは、注意します。なおらないときは参加をやめてもらいます。

II. ボランティアのやくそく

私は、ヤマックルの活動(かつどう)でボランティアするにあたり、つぎのことを守ります。

1. げんばの責任者(せきにんしゃ)の指示(しじ)にしたがい、安全(あんぜん)を第一(だいいち)に行動(こうどう)します。あぶないと感じたら、すぐに作業(さぎょう)をやめます。
2. スタッフや他のボランティアをそんけいし、協力(きょうりょく)して活動します。
3. 体調(たいちょう)がわるいときは、すぐに責任者(せきにんしゃ)に伝えます。
4. 活動(かつどう)で知った人の情報(じょうほう)や団体(だんたい)のひみつは、外に話しません。
5. 写真(しゃしん)や動画(どうが)をとったりSNSにのせるときは、うつっている人のゆるしをもらいます。
6. グループLINEには、顔(かお)が写(うつ)っている人のゆるしなく写真(しゃしん)をとうこうしません。
7. 活動(かつどう)にむりがあると感(かん)じたり、なおしてほしいことがあるときは、責任者(せきにんしゃ)や通報(つうほう)フォームで伝(つた)えます。
8. ハラスメント(らんぼうなことば・さべつ・むし・こうげき・むりなおねがい・せいてきなことばやこうどうなど、人(ひと)をいやな気持(きも)ちにさせることはしません。
9. 保険(ほけん)の内容(ないよう)を理解(りかい)して、自分(じぶん)の体調(たいちょう)と安全(あんぜん)をまもります。

サイン

年　月　日

お名前(なまえ):
住所(じゅうしょ):　(サイン)
電話番号(でんわばんごう):
はじめましてのときにれんらくできる人(ひと)の名前(なまえ)・かんけい・電話番号(でんわばんごう):

※令和8年(みさいねん)の人は、ほご者(しゃ)などのサインが必要です。
ほご者の名前(なまえ):　(サイン)



# 活動報告と計画

4. 森を考える

## 2025年度の活動実績

### 先進事例の視察

岡山県西粟倉村と鳥取県智頭町を訪問し、4件の視察を行いました（2025年11月17日～19日）。紀美野町での今後の活動に活かせる多くの示唆を得ました。

**1）皐月屋（鳥取県八頭郡智頭町）**
ウッドマイザー製材機の導入経緯と運用ノウハウについて学びました。

**2）智頭町役場（同上）**
森林セラピー事業に関し、15年間の事業運営の経緯、利用者数の推移、予算や人材確保の課題について伺いました。

**3）木の里工房木薫（岡山県英田郡西粟倉村）**
間伐材を活用した保育園向け家具・遊具事業の展開を学びました。

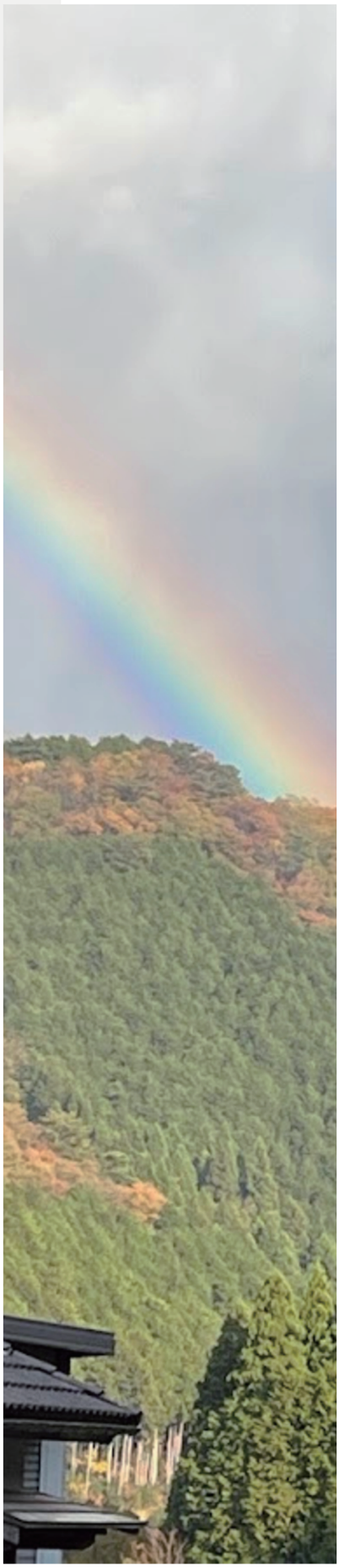
**4）西粟倉森の学校（株式会社エーゼログループ）（同上）**
「百年の森林構想」を軸とした資源循環型の多角経営、木材流通の「川中」機能への特化、B 品・端材の商品化など、価格競争を避けた付加価値戦略に加え、女性など多様な人材が活躍できる働き方の工夫について学びました。

# 2026年度の計画

## 活動意義の多角的な理解

ヤマックルの活動意義を様々な視点（生物多様性、エネルギー、災害、雇用など）から捉えなおし、発信するため、専門家を招いた勉強会を開催します。







# 団体運営

## 2025年度の運営実績

### 法人化

2024年4月に任意団体として活動を始めたヤマックルでしたが、2025年12月17日に和歌山県よりNPO法人（特定非営利活動法人）として認証され、法人登記が完了しました。

### 支援しやすい団体へ

クレジットカード決済と名簿とが連動したシステム導入の準備を始めました。

## 2026年度の運営計画

### 認定NPO 法人化

より幅広い個人・組織からの支援や協力を得られるよう、認定NPO法人の申請を目指します。具体的には、申請に必要な「寄付者100名」を目標に、マンスリーサポーター入会キャンペーンなど、支援を広げる取り組みをします



# ご支援のお願い

あなたの応援が里山再生を支えます

ヤマックル・アグロフォレストリーの活動は、
お一人お一人のご支援・ご参加によって支えられています。
時間のかかる里山の手入れを続け、広げるために、
ぜひご入会・ご寄付をお願いいたします。

## 支援方法

**寄付**　**寄付／毎月**　**正会員**

個人／法人が選択できます。
ヤマックルホームページから手続きできます。
クレジットカード決済か銀行振込かを選択できます。

## 寄付していただいた方が税制優遇を受けられる団体を目指して

今年度中に認定NPO法人の申請ができるよう、
寄付者/マンスリーサポーター100名の達成をめざしています。

### 認定NPO法人へ寄付をするメリット

認定NPO法人になると、皆さまからのご寄付が税制上の優遇措置の対象となり、寄付者の方は確定申告によって「税額控除」または「所得控除」を受けられるようになります。
私たちは、寄付という形で活動を応援してくださる皆さまのご負担を少しでも軽くしながら、いただいたご支援を山と地域の未来につなげていけるよう、認定取得を目指しています。

# 2025年度NPO法人決算

## 活動計算書

2025年12月17日～2026年3月31日まで

（単位:円）

| 科目 | 金額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ 経常収益 | | | |
| 1.受取会費 | | 0 | |
| 2.受取寄付金 | | 210,000 | |
| 3.受取助成金等 | | 3,351,654 | |
| 4.事業収益 | | 0 | |
| 5.その他収益 | | | |
| 受取利息 | 0 | | |
| 雑収入 | 0 | 0 | |
| 経常収益計 ① | | | 3,561,654 |
| Ⅱ 経常費用 | | | |
| 1.事業費 | | | |
| (1)人件費 | | | |
| 給与手当 | 428,803 | | |
| 人件費計② | 428,803 | | |
| (2)その他経費 | | | |
| 諸謝金 | 104,084 | | |
| 旅費交通費 | 0 | | |
| 消耗品費 | 820 | | |
| その他経費計③ | 104,904 | | |
| 事業費計②+③=④ | | 533,707 | |
| 2.管理費 | | | |
| (1)人件費 | | | |
| 給与手当 | 0 | | |
| アルバイト人件費 | 0 | | |
| 人件費計⑤ | 0 | | |
| (2)その他経費 | | | |
| その他経費計⑥ | 0 | | |
| 管理費計 ⑤+⑥=⑦ | | 0 | |
| 経常費用計 ④+⑦=⑧ | | | 533,707 |
| 当期正味財産増減額 ①−⑧=⑨ | | | 3,027,947 |
| 前期繰越正味財産額 ⑩ | | | 0 |
| 次期繰越正味財産額 ⑨+⑩ | | | 3,027,947 |

## 貸借対照表

2026年3月31日現在

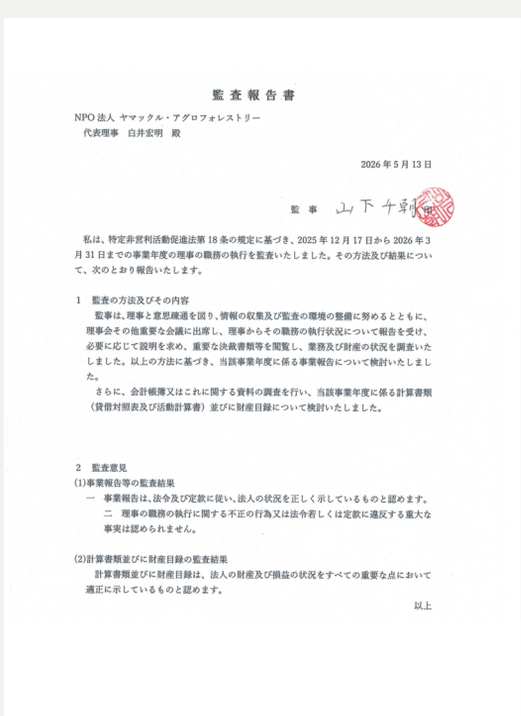
（単位:円）

| 科目 | 金額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ資産の部 | | | |
| 1.流動資産 | | | |
| 現金預金 | 3,027,947 | | |
| 流動資産合計 | | 3,027,947 | |
| 2.固定資産 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 3,027,947 |
| Ⅱ負債の部 | | | |
| 1.流動負債 | | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2.固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 0 |
| Ⅲ正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 0 | |
| 当期正味財産増減額 | | 3,027,947 | |
| 正味財産合計 | | | 3,027,947 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 3,027,947 |

## 助成金等

- 2025年度～2027年度
  休眠預金活用事業助成金
  （NPO法人地球と未来の環境基金/NPO法人自伐型林業推進協議会）
- 2025年度
  里山林活性化による
  多面的機能発揮対策交付金
  （林野庁）
- 2026年度 COSMOエコ基金





監査報告書

NPO 法人 ヤマックル・アグロフォレストリー
代表理事 白井宏明 殿

2026 年 5 月 13 日

監 事 山下千尋 印

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2025 年 12 月 17 日から 2026 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容
監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見
(1)事業報告等の監査結果
一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

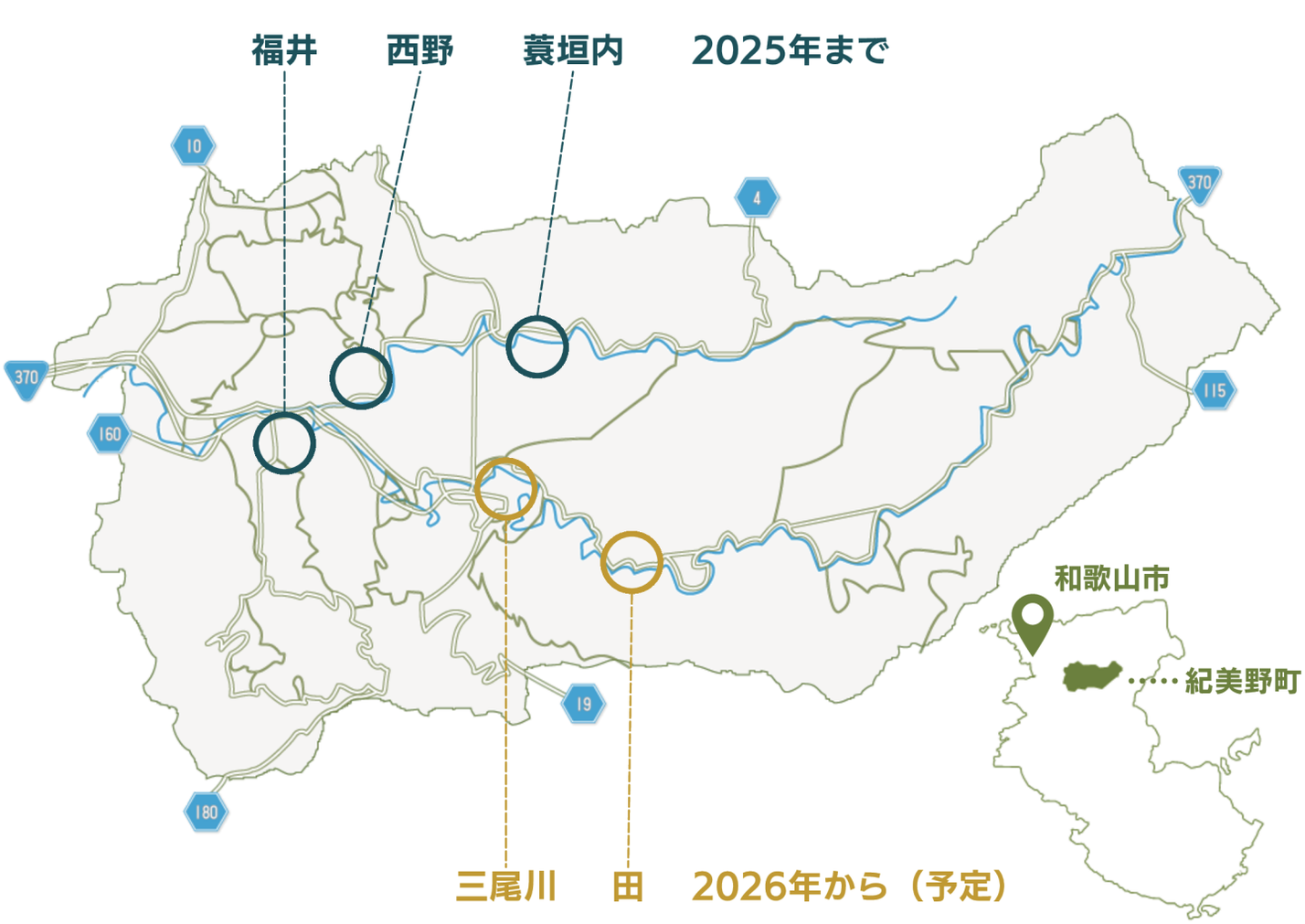
(2)計算書類並びに財産目録の監査結果
計算書類並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上



# 整備活動 施業地

和歌山県 海草郡 紀美野町



**自然環境を守りながら**
**地域の経済につなげる**
**「経済と環境の両立」を目指します**






特定非営利活動法人ヤマックル・アグロフォレストリー
〒640-1111 和歌山県海草郡紀美野町福井 1111-24
info@yamaccle.org
https://yamaccle.org/
@yamaccle_agroforestry